

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 261-8515

住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1

氏 名 まいばすけっと株式会社

代表取締役 岩下 欽哉

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	まいばすけっと株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区下作延3-24-35		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	主として各種食料品、酒類の販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	4,850	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 7,861	(実) 8,437	(実) 8,497	(実) 8,428	(実) 7,625
	(調) 7,646	(調) 8,202	(調) 8,219	(調) 8,353	(調) 7,646
削減率		(実) -7.3%	(実) -8.1%	(実) -7.2%	(実) 3.0%
		(調) -7.3%	(調) -7.5%	(調) -9.2%	(調) 0.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延べ床面積				原単位等の単位	t-CO2/m ²
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	0.5086	0.4867	0.4717	0.4504	0.4933	
活動量の値	15454.24	17333	18013.03	18712	-	
排出量原単位等の削減率		4.3%	7.3%	11.4%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	二酸化炭素排出量は店舗数が7店舗増えたため基準年度比7.3%増加した。要因は消費電力の増加が大きく起因していると思われる。 原単位は延べ床面積が増加したため基準年度比4.3%削減することができた。	
第2年度	新規店舗5店、改装1店を実施。省エネ設備導入を促進。店舗増により二酸化炭素排出量が増となるが、原単位は減少したと思われる。	
第3年度	新店舗4店舗出店、改装3店舗実施。省エネ設備導入への投資をスタートした。順次省エネ削減へ向けた取り組みを行い削減に貢献していく。店舗増により排出量が増だが、排出量原単価は、抑える事ができた。最終的に0.9429 (削減率11.4%)下げる事ができた。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		今計画期間中は、16店舗出店、改装4店舗実施した。省エネ投資と排出量削減をしてきたが7.4%増一方で原単位11.4%削減が出来た。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		今後も出店計画があるため、排出量は増となる見込みでいる。店舗ごとで省エネを行い、使用量を減らすことで、原単位を削減していく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①営業前後の売場不要照明の停止(新規店舗、及び改装時にセンサーによる店頭へ変更しています。 ②冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定 ③ショートケースナイトカバーの使用 ④冷気噴出し・吸い込み口の陳列物整理 ⑤バックヤードのこまめな消灯(新規および改装店舗はセンサー付き照明) ⑥空調フィルターの清掃・点検 ⑦換気フィルターの清掃・点検 ⑧LED照明ランプの採用(新規及び改装店舗に採用) ⑨冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(年1回定期清掃)</p>
<p>第1年度</p>	<p>①営業前後の売場不要照明の停止(新規店舗7店及び改装2店はセンサーによる点灯機器を設置。) ②冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定(94店) ③ショートケースナイトカバーの使用(94店) ④冷気噴出し・吸い込み口の陳列物整理(94店) ⑤バックヤードのこまめな消灯(新規店舗7店及び改装2店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑥空調フィルターの清掃・点検(94店) ⑦換気フィルターの清掃・点検(94店) ⑧LED照明ランプの採用(新規店舗7店及び改装2店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑨冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(94店で年1回定期清掃)</p>
<p>第2年度</p>	<p>①営業前後の売場不要照明の停止(新規店舗5店及び改装1店はセンサーによる点灯機器を設置。) ②冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定(98店) ③ショートケースナイトカバーの使用(98店) ④冷気噴出し・吸い込み口の陳列物整理(98店) ⑤バックヤードのこまめな消灯(新規店舗5店及び改装1店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑥空調フィルターの清掃・点検(98店) ⑦換気フィルターの清掃・点検(98店) ⑧LED照明ランプの採用(新規店舗5店及び改装1店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑨冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(98店で年1回定期清掃)</p>
<p>第3年度</p>	<p>①営業前後の売場不要照明の停止(新規店舗4店及び改装3店はセンサーによる点灯機器を設置。) ②冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定(101店) ③ショートケースナイトカバーの使用(101店) ④冷気噴出し・吸い込み口の陳列物整理(101店) ⑤バックヤードのこまめな消灯(新規店舗4店及び改装3店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑥空調フィルターの清掃・点検(101店) ⑦換気フィルターの清掃・点検(101店) ⑧LED照明ランプの採用(新規店舗4店及び改装3店はセンサーによる点灯機器を設置。) ⑨冷蔵冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃(101店で年1回定期清掃)</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	協力企業選定。コスト回収やメリットも感じ、まず実験的に1店舗で設置出来ないか協議中
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他(証書)	○	証書、太陽光オフサイトPPAを調査。各企業様より情報収集中。
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
なし		

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	○
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ GWP1500未満の冷媒ガスの検討(川崎北見方でテスト中) ・ 食品リサイクルの推進 ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO2排出量を削減する。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ GWP1500未満の冷媒ガスの検討(川崎北見方でテスト中) ・ 食品リサイクルの推進 (まいばすけっと(株)会計年度の2019年度において食品廃棄ロス▲13%) ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO2排出量を削減する。 (川崎市内での新規エリアは出店はなく、物流の効率悪化はない)
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ GWP1500未満の冷媒ガスの検討 (川崎北見方でテストを行い、省エネ性の確認済。2021年度中に冷凍機メーカーと最終冷媒ガスを決定の予定。) ・ 食品リサイクルの推進 (発注の精度を上げ、ロス軽減に各店が取り組む) ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO2排出量を削減する。 (川崎市内での新規エリアは出店はなく、配送効率は変化なし。)
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ GWP1500未満の冷媒ガスの導入 ・ 食品リサイクルの推進 ・ 地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO2排出量を削減 ・ ノンフロン飲料什器を導入(780台) ・ 川崎市と連携した植樹活動(宮前区宮沢地域) ・ 廃プラとして、「エコバック推進」「箸、スプーン等をバイオ製品に交換」

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源 CO ₂ 排出量	7,861 t-CO ₂	8,437 t-CO ₂	8,497 t-CO ₂	8,428 t-CO ₂
原油換算エネルギー 使用量	4,257 KL	4,637 KL	4,783 KL	4,850 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
まいばすけっと全店		7,861	8,437	8,497	8,428

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度